



梅二小だより

R7 4月 7日

No. 1

校長 竹花 正徳

<http://www.adachi.ed.jp/adauni/>

80年の歴史の上に新たな1年をスタート

校長 竹花 正徳

この3月には、80周年の年を梅島第二小学校の最高学年として活躍した53名が、小学校の思い出や、将来の夢や希望、決意を述べ、卒業証書を受け取り、堂々と卒業していきました。梅島第二小学校の伝統は五年生に引き継がれました。新年度、4月を迎え、校庭の桜が満開になり、令和7年度がスタートしました。新1年生43名が入学して、全校児童269名、13学級（通常学級11学級・ひまわり学級2学級）となりました。2週間ほどの春休みを挟み短い時間でしたが、登校してきた児童一人一人は凛々しく、新しい学年、新しい教室で新しいことに挑戦していくという期待に満ちあふれていました。今年度は、新一年生が2学級になりました。ひまわり学級にも新一年生を5人迎え、嬉しい春がやってきました。

本校の教育目標は

人間尊重の精神を基調とし、地域の文化や伝統を尊重し、「生きる力」の理念を重視する。社会の一員として、生涯と通し知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成を目指し、成長の礎を築く。さらに、あたたかな学習集団を育み、学んだことを必要なときに使い、未来を切り拓いていく児童の育成を図る。【○ゆたかな子 ○かんがえる子 ○つよい子】の3つです。

この学校目標のもと、小規模校のよさを生かし、あたたかな学級、学習集団づくりに取り組んできています。毎年、学年のはじめに、「梅二小学習スタンダード」「梅二小生活スタンダード」を基に、学習面と生活面の両輪で学びに向かうためのルーティンづくりをしてきました。また、毎月、「家庭学習がんばろう週間」では、たくさんの子供たちが学年×10分の目標を達成するよう取り組んでいます。一昨年度からは、音読・漢字・計算だけでなく、自主学者に取り組む児童も増え、自分の興味や関心、自分の課題に取り組むようにもなっています。ご多用な中だと思いますが、各ご家庭で保護者の皆様にもご協力をいただき感謝しています。日常の子供たちの様子を見ると学習がわかる児童、学習が楽しい児童が増え、学びに向かう力がついてきたことは嬉しい限りです。

昨年度は、タブレットを使った調べ学習や考えの交流、10歳の集いなどでプレゼンテーションソフトの活用による発表やAIドリルに取り組むなどICT機器を活用した学習も進んできています。低学年では50音表から文字を入力することがありますが、多くはキーボードからの文字入力をしています。ローマ字の学習の後には、ローマ字入力での入力が主になってきます。文字入力練習ソフトを活用し文字入力が速くなるように練習しています。ICT機器の活用と同時に、自分の手で書いて学ぶことも大切なことだと考えています。板書の課題をノートに書く、定規で線を引く、自分の考え・振り返りをノートに書くなど・・・このように、小学校に通う子供たちにとってやる事が多く、学校での学びは初めてのことばかりです。一度目からうまくできることもあります。うまくできないこともあります。困ったことや難しいことに出会った時にレジリエンス（困難を乗り越える力）も身に付けていきたい力です。乗り越えた（困難を避けた）先に成長があります。子供たちに寄り添いながら成長を見守り、指導していきます。今年度も、各学年に専科等の先生を副担任として配置しました。低学年には学習支援員がつき、チームで学年見ていく体制をとっています。そして、学校全体で、梅島第二小学校の児童の成長を支えていきます。80周年の歴史の上に新たな1年をスタートします。

子供の健やかな成長は、学校の中だけでできるものではありません。保護者の皆様、地域の皆様と共に一歩一歩、歩いていく所存です。本校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。

4月1日から転任しました副校長 齋藤寿子（さいとうもとこ）でございます。足立区生まれの足立区育ちです。梅二小のこども達の成長のために、全力でがんばります。どうぞ、よろしく願いいたします。